

... ein Töchterlein, das war so weiß wie Schnee, so rot wie Blut und so schwarzhaarig wie Ebenholz, und ward darum das Sneewittchen genannt.

「女の子は、雪のように白く、血のように赤く、コクタンのように黒い髪の毛をしていました。それで、みんなから白雪姫とよばれました。」

⇒ 三度の忠告にもかかわらず、約束を守らない白雪姫 ……メルヒェンは前後の文脈を独立させて、繰り返しを多くして話の効果をあげる。

... die guten Zwerglein und sprachen: „Hüte dich vor deiner Stiefmutter, die wird bald wissen, daß du hier bist; laß ja niemand herein.“

「親切な小人たちは、『まま母に気をつけるんだよ。ここにいることは、すぐ知れるからね。だれも、うちへいれてはいけないよ。』と言いました。」

しかし、白雪姫は、  
Schnürriemen von allen Farben かざり紐（胸をしめる）  
giftigen Kamm 毒のくし（髪をすく）  
giftigen Apfel 毒いりりんご  
と三度も死ぬような憂き目にあってこりないで、継母をうちへ入れてしまう。

